



新潟東ロータリークラブ週報

NIIGATA HIGASHI WEEKLY REPORT

No.2707
(2013.08.30)

国際ロータリー第2560地区
新潟東ロータリークラブ
会長：志田 常弘
幹事：水本 直弥
編集：広報委員会



ロータリーを实践し
みんなが豊かな人生を

8月：会員増強及び拡大月間

<http://www.niigatahigashirc.com>

【司会】青野勉SAA

【斉唱】ソングリーダー：親睦委員会 金子康弘委員

- ・ロータリーソング「四つのテスト」
- ・会歌「すばらしき仲間」

【志田常弘会長挨拶】



私は5年ほど前にパラオに行きました。パラオに新潟から行く時は、新潟空港からグアム経由で行きます。常夏の国です。そこで驚いたことがあります。

パラオは第二次世界大戦(太平洋戦争)で日本が敗戦するまで、日本統治下にありました。パラオの人々は年配者を見れば、皆日本語が上手に話せます。ともかく親日的です。それは、日本の統治下にあったころ、日本人が大勢住んでいたし、日本が学校やその他インフラを「作ってくれた」ということで、今、日本人が旅行しても、とても好意的に接してくれます。日本に親しみと感謝の気持ちさえ持っているような感じがあります。反日感情が近隣国にある中で、日本人として、とても嬉しいかぎりです。

そこで現地ガイドさんが言うことには、この国が日本の敗戦後、自立した時に国旗を制定するに当って、日本に親しみをこめて、日本の国旗に近づけようとして、旗の中心部に日の丸ならぬ「黄の丸」を入れたということです。白地では、日本に似てしまうので青地にしたということです。さらに「黄の丸」も日本のように旗の中心では悪いので、少し中心からずらしたということです。ちなみに日本人は、太陽を絵に描く時、赤い丸(円)にしますがアメリカ人や西洋人は、黄の丸(円)にするそうです。そんなふうには私は現地ガイドさんから聞いて、とても気を良くして、またパラオの人たちにもフレンドリーな気持ちで帰りました。

ところが、今この文を書くにあたって、サイトで確認しようとしたら、パラオの国旗には特にそのような意味あいは無いというようなことが書かれてありました。でも、それはいろいろ配慮するところがあって、そう書いてあるのであって、現地のパラオの人々の気持ちには、やはり強い親日感情があるのではないかと、パラ

オの人たちの私に接してくれた笑顔を思い浮かべながら思っています。だって日本人のことも日本の国旗も知っていて、それに似せたものを作ったわけですから、反日であるわけはありませんよね。でもこれ身鼻眞というものでしょうか(笑)

【紹介】

◇ビジター

晴山店主：鈴木誠也さん

【報告】

<R財団委員会：高橋英樹委員長>

寄付者紹介：本間健一郎さん、
志田常弘さん、那須野幸作さん

<米山奨学委員会：大宮一真委員長>



寄付者紹介：那須野幸作さん、志田常弘さん



Niigata Higashi Rotary Club

新潟東ロータリークラブ

<ニコニコBOX委員会:井上陽一委員>



水本直弥さん

私用で休会させていただきます。アメリカにいる孫の顔を見に行ってきます。楽しみにしております。

栗山清さん

暑さも過ぎたので大変良い時節になりました。

中川一広さん

今日のお話し楽しみ！！日本の美しさ、日本人らしさ、文化など。そしてそれが政治と経済にいかに関与を与えたか。鈴木さん宜しく。

【幹事報告】

<井上陽一副幹事>

・ロータリーレート変更

9/1より 現行のまま1ドル=100円

◇…本日の出席率 61.54%

2週間前メイクアップ後 90.57%…◇

次週9月6日例会は、会員スピーチ
「仕事とロータリー」河崎順昭さんです。



【卓話】

<紹介:中川一広さん>



「へうげもの達の道統①」

茶の湯で天下を取った信長・秀吉・徳川」

鈴木誠也さん

